

施策評価シート(第1期実施計画 中間評価)

1 施策の概要						
政策体系上の位置づけ	基本政策(1層)		生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり			
	政策(2層)		誰もが安心して暮らせる地域のつながり・しくみをつくる	計画当初値(H27年)	直近実績値(HO年)	最終目標値(H37年)
	市民実感指標	① 高齢者や障害者が生き生きと生活できるような環境が整っているという市民の割合	20.7%		25.0%	
施策(3層)	施策コード	施策名				
	10401000	総合的なケアの推進				
担当	組織コード	所属名				
	403000	健康福祉局地域包括ケア推進室				
関係課	健康福祉局総務部施設計画・整備担当、健康福祉局長寿社会高齢者在宅サービス課、健康福祉局地域福祉部地域福祉課、健康福祉局障害保健福祉部精神保健福祉センター、健康福祉局総務部企画課、健康福祉局障害保健福祉部障害計画課					
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 団塊の世代が75歳以上となる平成37(2025)年を見据えて、「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づき、市民が、住み慣れた地域や本人の望み場で、安心して暮らし続けることができるしくみづくりを推進します。 ● 高齢者をはじめとする誰もが、地域で生きがいを持ちながら安心して生き生きと暮らし続けられるよう、市民一人ひとりのセルフケア意識の醸成や介護予防の取組の充実、地域の支え合い・助け合いの促進に取り組みます。 ● 身近な地域において保健・福祉・医療などの総合的かつ専門的な支援を効果的に受けることができるよう、さまざまなサービスにつなぐ人材の育成を進めるとともに、区役所や地域包括支援センター、障害者相談支援センター、地域リハビリテーションセンター等の相談支援機能の強化に向けた取組を推進します。 ● 我が国における認知症高齢者の人数は平成24(2012)年に約462万人で、今後、さらに増加し、平成37(2025)年には65歳以上の高齢者のうち、約5人に1人が認知症となる見込みです。こうしたことから、認知症を理解するサポーターの養成や、かかりつけ医に対する研修の充実など、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをめざします。 ● 複数の慢性疾患を抱えながら在宅で生活する高齢者やその家族等を支えるため、在宅医療を担う人材の育成や市民への普及啓発など、多職種が連携し、医療・介護サービスを一体的に提供する環境づくりに取り組みます。 					
直接目標	多様な主体による地域での支え合いのしくみをつくる					

2 成果指標やその他成果などの状況と成果の分析								
実施計画に位置付けた指標名(指標の説明)			現状値(年次)	目標・実績	H28年度	H29年度	単位	
成果指標	1	高齢者のうち、介護を必要とする人(要介護・要支援認定者)の割合	17.07	目標値①	17.95	18.4	%	
		指標の説明	H26	実績値②	-	-	増減	
	2	地域包括ケアシステムの考え方の理解度	10.1	目標値①	13	16	%	
		指標の説明	H27	実績値②	-	-	増減	
	3	在宅チーム医療を担う人材育成研修の受講者累計数	308	目標値①	602	750	人	
		指標の説明	H26	実績値②	-	-	増減	
	4	介護予防の取組として、地域の活動に参加する人の割合	10.6	目標値①	10.6	-	%	
指標の説明		H25	実績値②	-	-	増減		
5	民生委員児童委員の充足率	90.5	目標値①	93.4	96.2	%		
	指標の説明	H27	実績値②	-	-	増減		
6	認知症サポーター養成者数(累計)	24,034	目標値①	31,944	35,900	人		
	指標の説明	H26	実績値②	-	-	増減		
その他数値で把握できる補足指標(指標の説明)				実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
1	指標の説明			実績				
				実績				
その他定性的な成果(当初想定していなかった発現効果などについて記載)								
指標等の成果分析(指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)								

※1 指標達成度の目安(a. 目標値以上(100%以上)、b. 現状値以上～目標値未満、c. 60%以上～現状値未満、d. 59%以下)

※2 指標達成度の目安(a. 目標値以上(100%以上)、b. 個別設定値以上～目標値未満、c. 60%以上～個別設定値未満、d. 59%以下)

3 施策を構成する主な事務事業の評価										
番号	事務事業コード 事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費(千円)			事業の達成度	施策への貢献度	今後の事業の方向性
					予算額	決算額				
						H27年度				
						H28年度				
						H29年度				
1	10401010 地域包括ケアシステム推進事業	その他	誰もが、住み慣れた地域等で、安心して暮らし続けることができるしくみである、地域包括ケアシステムの構築を推進します。		14,086					
					34,080					
2	10401020 介護予防事業	その他	元気な高齢者を増やすとともに、要支援認定者等の重症化を防ぐため、効果的な介護予防の取組を進めます。		396,398					
					1,929,706					
3	10401030 認知症高齢者対策事業	参加・協働の場	認知症に関する普及啓発や徘徊高齢者等SOSネットワークの充実を図り、認知症高齢者等の地域による見守り機能の充実を図ります。		37,178					
					39,008					
4	10401040 在宅医療連携推進事業	参加・協働の場	医師、看護師、介護支援専門員など多職種が連携し、医療・介護サービスを包括的に提供する環境づくりに取り組みます。		19,664					
					19,328					
5	10401050 福祉センター再編整備事業	その他	高齢者や障害者の在宅生活の支援を推進するため、地域リハビリテーションセンターや、特別養護老人ホーム、障害者入所施設等を含む福祉センター跡地活用施設を整備します。		12,715					
					26,321					
6	10401060 地域見守りネットワーク事業	その他	ひとり暮らし高齢者等の異変を早期に見出し、支援ができるよう、地域に密着した事業者とのネットワークを構築します。		3,076					
					3,140					
7	10401070 災害救助その他援護事業	その他	災害時に高齢者や障害者等の要援護者の安全確保や円滑な避難を支援する災害時要援護者避難支援制度の運用など災害時援護体制の整備を図ります。		36,444					
					29,215					
8	10401080 民生委員児童委員活動育成等事業	補助・助成金	地域の身近な相談相手であり、見守り役でもある、民生委員児童委員を、条例及び国の参酌基準に基づき適正に配置し、育成・支援することを通じて、地域福祉の推進を図ります。		156,743					
					177,602					
9	10401090 自殺対策・メンタルヘルス普及啓発事業	その他	ひとりでも多くの生命を守るため、地域の多様な主体と協働し、安心して暮らせるまちづくりにより、自殺に追い込まれない社会の実現に向けた取組を進めます。		20,606					
					19,565					
10	10401100 権利擁護事業	その他	高齢者、障害者を含め誰もが、虐待や消費者被害等の権利侵害を受けることなく、安心して生活できるよう、社会生活における相談支援の提供等の、権利擁護の取組を推進します。		184,090					
					180,332					

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業の評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移 (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か?)	区分	選択区分	「事業構成の妥当性を選択した理由」及び「今後の方向性」
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	